

平成29年度  
事業報告書

社会福祉法人  
名張市社会福祉協議会

# 目 次

I	【 法人本部拠点 】	
I-1	法人運営事業	1
	(1) 法人本部	
	(2) 法人運営事業	
I-2	地域福祉増進事業	6
	(1) 地域福祉活動計画の推進	
	(2) 暮らし応援ネットワーク事業	
	(3) 生活支援体制整備事業	
	(4) ボランティアセンター事業	
	(5) 福祉まらづくりセンター事業	
	(6) 福祉団体等当事者活動支援	
I-3	なばり暮らしあんしんセンター	18
	(1) 福祉サービス利用援助事業	
	(2) 成年後見事業	
	(3) 生活困窮者自立支援事業	
	(4) 生活福祉資金等貸付事業	
II	【 在宅福祉サービス拠点 】	26
	(1) 事業経営管理体制の整備	
	(2) 事業別取組み実績	
	1. 通所介護事業	
	2. 訪問看護事業	
	3. 居宅介護支援事業	
III	【 昭和保育園拠点 】	32
	(1) 事業の概要	
	(2) 適切な運営体制確立	
	(3) 特別保育事業	
	(4) マイ保育ステーションの取組み	
	(5) 「子ども子育て新制度」に沿った事業展開	
IV	【 総合福祉センターふれあい拠点 】	37
	(1) 総合福祉センター指定管理事業	
V	【 老人福祉センター「ふれあい」拠点 】	39
	(1) 老人福祉センター指定管理事業	
	(2) 介護予防・日常生活支援総合事業	

## I 【法人本部拠点】（総務課・地域福祉課）

### I-1. 法人運営事業

#### （1）法人本部

社会福祉法人制度改革に対応し、新定款に則した法人運営に取り組みました。

また、調整監及び専門員を配置し、各拠点の組織運営の強化を図るとともに、法律、会計の専門家（弁護士、会計事務所）の協力を得て法令遵守の運営に努めました。

#### （2）法人運営事業

##### 1. 適正な経営組織の運営（ガバナンスの強化）と事業運営

###### ①理事会の適正な運営

事業計画・予算、事業報告・決算についての承認、組織構成会員の入会及び役員等の選任を行いました。

開催日	議案及び審議事項
第1回 6月5日	1) 平成28年度事業報告及び附属明細書の承認について 2) 平成28年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認について 3) 組織構成会員の入会について 4) 平成28年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 5) 平成29年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について 6) 平成29年度定時評議員会の日時及び場所、目的である事項の決定について 7) 評議員候補者の推薦について
第2回 6月14日〈決議の省略〉	1) 役員及び評議員の報酬等の支給の基準並びに報酬等の額の決定について
第3回 6月20日	1) 会長の選任について 2) 副会長の選任について 3) 常務理事の選任について 4) 顧問の委嘱について 5) 評議員選任・解任委員の選任について
第4回 9月8日	1) 補正予算(第1号)について 2) 日本赤十字社三重県支部名張市地区の会計事務取扱の変更について 3) 経理規程の一部改正について 4) 給与規程の一部改正について 5) 組織構成会員の入会について 6) 平成29年度第2回評議員会の招集について
第5回 12月13日	1) 補正予算(第2号)について 2) 定款細則の一部変更について 3) 役員及び評議員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 4) 会長の報酬等に関する規程の一部改正について 5) 理事の報酬総額の決定について 6) 平成29年度第3回評議員会の招集について

第6回 3月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 補正予算（第3号）について</li> <li>2) 第3次名張市地域福祉活動計画見直し計画について</li> <li>3) 組織規程の一部改正について</li> <li>4) 平成30年度事業計画について</li> <li>5) 平成30年度予算について</li> <li>6) 組織構成会員の入会について</li> <li>7) 平成29年度第4回評議員会の招集について</li> </ul>
--------------	---

### ②評議員会の適正な運営

理事会で認定を得た事業計画・予算、事業報告・決算等重要事項の議決の他、理事の選任について承認を得ました。

開催日	議案
第1回 6月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 平成28年度事業報告の承認について</li> <li>2) 平成28年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について</li> <li>3) 役員を選任について</li> <li>4) 平成29年度役員及び評議員の報酬等の支給の基準並びに報酬等の額の決定について</li> </ul>
第2回 9月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 補正予算（第1号）について</li> <li>2) 日本赤十字社三重県支部名張市地区の会計事務取扱の変更について</li> </ul>
第3回 12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 補正予算（第2号）について</li> <li>2) 役員及び評議員の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について</li> <li>3) 会長の報酬等に関する規程の一部改正について</li> <li>4) 理事の報酬総額の決定について</li> </ul>
第4回 3月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 補正予算（第3号）について</li> <li>2) 第3次名張市地域福祉活動計画見直し計画について</li> <li>3) 平成30年度事業計画について</li> <li>4) 平成30年度予算について</li> </ul>

### ③監事監査の実施

事業運営と財務管理について、監事監査を年2回実施しました。

実施日	議題
決算監査 5月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 平成28年度決算報告について</li> <li>2) 平成28年度事業報告について</li> </ul>
中間監査 11月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 平成29年度上半期の事業報告について</li> <li>2) 平成29年度上半期の経営状況について</li> <li>3) 理事の出席状況について</li> <li>4) 役員会、財務会計に関する事務処理体制に係るチェックについて</li> </ul>

#### ④組織構成会員種別会の開催

第3次名張市地域福祉活動計画見直し計画（素案）について各種別で意見交換を行った後、全体発表を通じて意見の共有を図りました。

開催日	2月17日
対象団体数	187団体
参加団体数 (参加人数)	71団体 参加人数(76名)
内容	・第3次名張市地域福祉活動計画見直し計画（素案）について ・意見交換会 全体テーマ『ともに支えあう暮らしやすい地域づくり』 第3種（社会福祉事業施設） テーマ「地域における公益的な取組みについて」 第4・6種（障害者団体等当事者団体・その他社会福祉に関係のある団体） テーマ「連携した取組みについて」 第5種（ボランティア団体） テーマ「ミドルエイジの地域活動デビュー企画について」

## 2. 計画的な財務運営と事業運営の透明性の向上

顧問税理士の指導のもと、関係規程に沿いながら適切な税務及び財務管理を行いました。また、計算書類をホームページに掲載する等、積極的に情報を公開しました。

## 3. 人事労務管理

### ①新人事考課制度の運用

これまで実施してきた人事考課について、今年度は対象者を非正規職員まで広げ、適正な処遇・職員の勤労意欲の醸成を図りました。

また、考課者研修を実施し、考課者の資質向上を図るとともに、新しい人事考課制度について理解を深めました。

実施日	研修名	対象人数	参加人数
6月27日	新考課者研修	22名	17名
9月22日	考課者研修Ⅰ	19名	17名
1月16日	考課者研修Ⅱ	20名	18名

### ②職員研修の効果的な実施による職員育成

職員の階層に合わせた階層別研修と、全職員を対象とした全体研修を実施しました。

#### ア. 階層別研修

実施日	研修名	参加人数
4月3日・4日	新任研修	5名
6月27日	階層別研修（3・4級職員対象） 「ファシリテーションの基本」	17名
8月22日	階層別研修（1・2級職員対象）	14名

	「コミュニケーション・スキル」	
2月13日	職場のメンタルヘルス対策（3級職員以上対象）	19名

#### イ. 全体研修

実施日	研修名	参加人数
6月7日	人材育成研修Ⅰ	44名
9月13日	人材育成研修Ⅱ	44名
3月7日	人材育成研修Ⅲ	16名
7月25日	救急救命講習会	16名
10月23日	メンタルヘルス・セルフケア研修	18名
12月6日	人権研修会	26名

#### ③職員衛生委員会を軸にした働きやすい職場づくりの推進

職員衛生委員会を毎月開催し、職員が働きやすい職場づくりを推進するため、様々な課題について協議しました。また、労働基準監督署の指導に基づき、安全衛生推進体制の整備について検討しました。

実施日	議案
第1回 4月25日	1) 平成28年度時間外勤務の状況について 2) 平成29年度ストレスチェックの実施について
第2回 5月24日	1) 相談窓口の設置について 2) 各事業所の衛生管理等について（職場巡視）
第3回 6月28日	各事業所の衛生管理等について（職場巡視をして）
第4回 7月26日	1) 職場巡視を終えて 2) 上半期中途振り返りと今後の課題について
第5回 8月23日	1) 福祉まちづくりセンター職場巡視 2) ストレスチェック結果について
第6回 9月28日	1) 職場環境等の把握と改善について 2) 夏季休暇取得状況の途中経過について
第7回 10月4日	各事業所の衛生管理等について
臨時開催 11月2日	伊賀労働基準監督署の指摘事項について
第8回 11月27日	1) 労働基準監督署からの指導にかかる改善報告書の提出について 2) メンタルヘルス研修を終えて
第9回 12月26日	1) 安全推進体制の確立について 2) 平成29年度健康診断の結果について
第10回 1月26日	1) 安全衛生推進体制の整備について 2) 平成30年(度)安全衛生管理計画及び実施結果報告書について 3) 平成30年度事業場における心の健康づくり計画における取組みについて
第11回 2月26日	1) 安全衛生推進体制の整備について 2) 平成30年度事業場における心の健康づくり計画における取組みに

	ついて
第 12 回 3 月 22 日	1) 安全衛生推進体制の整備について 2) 平成 30 年度事業場における心の健康づくり計画における取組みについて

#### ④労働時間の適正管理と過重労働防止に関する対策の実施

職員毎の労働時間を集計し、経営会議及び職員衛生委員会で報告・確認を行うとともに、職員の過半数を代表する者と、時間外労働時間の状況について毎月協議しました。

また、「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」で職員の健康状態を把握し、過重労働の防止に努めました。

#### 4. リスク・マネジメント体制の整備

特定個人情報を取り扱う職員を対象に、特定個人情報保護の徹底を目的とした「個人番号利用事務等実施者研修」（2月5日）を実施しました。

また、「リスクマネジメントに関する取組み」について検討し、リスクマネジメント委員会の設置や職員衛生委員会の在り方等について協議しました。

#### 5. 広報啓発

広報作業部会を中心として、社協が行う事業やさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉やボランティア活動、各種募金、相談業務の案内等積極的な情報発信に努めました。

##### ①社協だより「ほほえみ」の発行

年6回（奇数月）伊和ジャーナルの紙面に社協だより「ほほえみ」を掲載し、積極的な情報発信を行いました。

##### ②ホームページを活用した情報公開と発信

ア. ホームページ上で社協の概要、活動内容、計算書類等の情報を公開するとともに、福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金について情報を発信しました。

イ. 情報公開と情報発信をする場としてのホームページを適切に運営・管理するため、随時情報を更新し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。

月平均アクセス数 9,421件

##### ③メディア活用による情報発信

新聞、FMなばり、ケーブルテレビ等に情報提供し、イベント開催や社協の取組みについての情報発信を行いました。

##### ④名張市社会福祉大会の開催と福祉功労者の顕彰

第47回名張市社会福祉大会を民生委員制度創設100周年大会と合同で10月21日、アドバンスコープADSホールにて開催しました。

#### 6. 施設・財産管理

老朽化した施設を維持管理するため、改修工事を行いました。

①昭和保育園

乳児室網戸設置工事、保育室床改修、乳児室及び保育室空調機取替 他

②総合福祉センターふれあい

玄関庇修繕、天窓雨漏り修繕、電話交換機の更新 他

## I-2. 地域福祉増進事業

### (1) 地域福祉活動計画の推進

第3次名張市地域福祉活動計画の推進に取り組み、これまでの3年間を評価し中間見直しを行いました。計画の進捗状況の確認や評価、見直しにあたっては名張市地域福祉活動計画推進委員会を開催し、地域福祉推進懇談会や社協組織構成会員種別会等において地域の活動者等と共有した現状や課題等もふまえ、見直し計画を策定しました。

#### 1. 地域福祉活動計画推進委員会の開催

実施日 (出席委員数)	9月6日(水)(4名)・12月11日(月)(4名) 1月23日(火)(5名)・3月2日(金)(5名)
----------------	---

#### 2. 地域福祉推進懇談会の開催

名張市において第8期名張市高齢者保健福祉計画の策定もすすめられていたことから、今後の地域福祉活動をさらに充実させることを目的に、地域づくり組織における福祉的課題やその解決策を話し合う地域福祉推進懇談会を開催しました。

日程	11月14日(火)～1月28日(日)15地域 8～34名(266名) 名張市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について くらし応援ネットワークについて グループワーク「身近な地域のささえあい活動について」
----	--

### (2) くらし応援ネットワーク事業

#### 1. 地域担当職員(コミュニティソーシャルワーカー)の配置

地域福祉係地域担当職員3名(社会福祉士等)を中心に、生活支援係相談支援員と15地域を担当し、活動者とともに地域福祉活動を推進するため、地域づくり組織や民児協の会合・行事等をはじめとする地域活動の場へ出向き、情報収集や提供、相談や助言を通して活動支援に取り組みました。

- ・地域の活動者や住民からの問い合わせ相談

相談区分	新規	継続	延べ	相談区分	新規	継続	延べ
活動支援	37	34	71	生活支援	10	9	19
情報提供	47	66	113	その他	161	209	370
職員派遣	7	11	18	計	262	329	591

- ・地域の会議や事業等への参加状況

会議や事業	ふれあい・いきいきサロン	その他
-------	--------------	-----

329 件	141回(50サロン)	253件
-------	-------------	------

## 2. 社会福祉法人としての地域貢献活動の推進

前年度の準備会を経て、名張市内の社会福祉法人・施設が連携し「名張市における公益的な取組」を共に推進していく場として「名張市社会福祉法人連絡会」を設立しました。

7 月 31 日(月)	参加者 5 法人 ・名張市社会福祉法人連絡会について ・名張市における地域貢献活動について
-------------	---

## 3. 救急医療情報キットによる安心ネットワーク事業の推進

民生委員・児童委員の協力により、高齢者実態調査の機会に合わせて更新確認の声かけを行ってもらい、社協職員による更新確認と合わせて、個別の相談支援に取り組み、漏れない見守りの仕組みづくりをすすめました。

平成 29 年度申込	322 世帯・488 名
利用者数	3,365 世帯(139 世帯増)・5,038 名(187 名増) (利用廃止:806 世帯・1,333 名 ※平成 24 年度からの廃止総数)
救急隊活用件数	30 件 期間:平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日

### (3) 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを 1 名配置し、各地域でのボランティア等による生活支援・介護予防活動について、地域担当とともに実施状況把握や活動支援に取り組みました。

#### 1. 地域ささえあい活動

地域ささえあい活動団体	8 団体 実施検討 2 団体(赤目:平成 30 年度実施、梅が丘:準備中)
地域ささえあい活動連絡会	8 月 2 日(木) 15 名(9 団体)、名張市(3 部署) 3 月 13 日(火) 13 名(9 団体)、名張市(5 部署)
地域における支えあい活動 セミナー(県社協)	3 月 8 日(木) 参加者 1 名、事例発表者 1 名 事例発表:青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会

#### 2. 配食ボランティア活動

##### ①研修会、連絡会

研修会	①6 月 20 日(火) 参加者 24 名(7 団体)、市民センター3 名(3 ヲ所) 「夏場における食中毒及び手指消毒の重要性について」 ②12 月 4 日(月) 参加者 35 名(7 団体)、市民センター8 名(6 ヲ所) 「ノロウィルスについて」
連絡会	3 月 6 日(火) 参加者 16 名(7 団体) 伊賀地域出前講座「いいこといっぱい!地元の野菜」

	意見交換会
--	-------

## ②配食ボランティア活動実績(地域福祉活動助成対象団体)

配食	8団体 / 8地域	配食数 16,850食	対象者数 505名	活動日数 341日
会食	1団体 / 1地域	開催日数 12日	延べ利用者数 435名	

## ③比奈知地域における配食ボランティア活動支援

比奈知地域で活動していた配食ボランティアグループ「あいーあい」が7月をもって解散することを受け、比奈知地域での配食ボランティア活動について、地域づくり組織とボランティア等とで検討を重ねました。

検討会、準備会等	6月28日～3月28日 計10回
----------	------------------

## 3. ふれあい・いきいきサロン

交流会	①9月19日(火) 参加者 22名(34サロン)、25名(16施設) 各サロンの活動者間及びケマネジャーとの交流会
	②2月27日(火) 参加者 56名(36サロン) サロンで使えるレクリエーション、交流会

## 4. 各地区の社会資源マップの作成と活用

「各地区の社会資源」マップを作成し、まちの保健室をはじめ、市内のケアマネジャーへ情報提供を行いました。

## 5. スクエアステップサロン活動支援、人材育成

地域担当職員と連携し、新たな介護予防・認知症予防として住民主体の「スクエアステップサロン」を各地域で展開していくための人材養成と活動の立ち上げ支援を行いました。

スクエアステップ体験会	7月7日(金) 参加者 93名
スクエアステップ リーダー養成研修	7月28日(金)、8月1日～23日(選択実習)、9月15日(金) 修了者 25名
スクエアステップ リーダー交流会	1月30日(火) 参加者 36名 意見交換会、ステップパターンの発表
スクエアステップサロン	リーダーが中心的にサロン活動を展開 5地域(鴻之台希中央台、比奈知、桔梗が丘、つつじが丘、赤目)
スクエアステップ リーダー育成支援	45回(5地域) (名張、比奈知、桔梗が丘、つつじが丘、赤目)
スクエアステップの 出前講座	9回(6ヵ所) (比奈知、箕曲、国津、赤目、百合が丘、福祉団体)

## 6. 名張市主催まちじゅう元気プロジェクトへの協力

まちじゅう元気プロジェクトへの協力を通じて、一般介護予防の新たなサービス実施展開に関する取組みをすすめました。

協力 状況	・6地域(会議やプロジェクト事業への参加、スクエアステップ実施等) ・よくばリーダー養成研修実施協力(スクエアステップ体験等)
----------	--

#### (4) ボランティアセンター事業

##### 1. ボランティアセンター運営委員会

住民の多様なニーズに対応していくため、ボランティアセンターとしての取組み状況について報告するとともに、情報共有や地域課題解決に向けた協議・検討に取り組みました。

第1回	5月18日(木)委員7名、オブザーバー1名
第2回	9月5日(火)委員9名、オブザーバー1名
第3回	12月19日(火)委員8名、オブザーバー1名
第4回	3月7日(水)委員9名、オブザーバー1名

##### 2. 相談・活動支援

ボランティア 登録数	184団体(延べ2,911名)※サロン 86団体含む 個人ボランティア受入登録施設 16施設
	個人ボランティア 836名 ※アドバイザー、ふれあい隊、災害ボランティア等含む

相談実績(相談区分と件数) ※ふれあい受付分

相談区分	新規	継続	延べ	相談区分	新規	継続	延べ
ボランティア依頼	63	193	256	情報提供	16	23	39
ボランティア希望	12	21	33	その他	17	16	33
活動支援	6	8	14	計	114	261	375

・ボランティア活動保険・行事用保険等の加入手続き

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備としてボランティア活動保険をはじめとした全社協補償制度の加入促進を図りました。

保険の種類	加入件数	加入団体数
活動保険	969名	64団体 945名・個人24名
行事用保険	95件	22団体 5,289名
福祉サービス総合補償	5件	5団体 活動従事者124名
送迎サービス総合補償	1件	1団体 法定乗車定員数40名
事故対応件数	活動保険 / 傷害事故 / 請求3件	
	行事用保険 / 物損事故 / 請求2件	
		補償外0件

##### 3. 各種団体、施設等との連携による情報共有と課題解決に向けた協議

###### ①ボランティアアドバイザー連絡会

ボランティアアドバイザーとしてふれあいフェスティバル実行委員会へ参画し、同フェスティバルにおいてボランティア啓発・相談ブースを出展し、ボランティア活動の啓発を行いました。

###### ②福祉協力校連絡会

福祉協力校間の情報共有を図り、福祉教育活動を推進するための連絡会を開催しました。

連絡会	①6月23日(金)参加19校 ②3月12日(月)参加18校
-----	-------------------------------

	(小学校 14 校・中学校 5 校・高等学校 2 校・高等専門学校 1 校)
--	--

### ③ふれあいフェスティバルの開催

ボランティアセンター運営委員会メンバーを含む実行委員会を立ち上げ、ボランティア活動を含む地域福祉活動の啓発や住民同士のつながりの場として開催することで、多くの住民にボランティア活動等について周知することができました。

協力ボランティア団体	ブース出展団体：25 団体、ステージ発表団体：9 団体 パネル出展団体：32 団体
個人ボランティア数	事前準備 11 月 24 日(金)：15 名 ふれあいフェスティバル 11 月 25 日(土)：125 名
内容	ボランティアグループ活動発表、ブース出展、パネル展示、エコキャップアート展示、スタンプラリー、ソーラーカーづくり、各体験ブース等

## 4. 災害、防災への取り組み

### ①災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの内容に沿って、名張市防災ボランティア他関係機関の参加のもと、センター設置運営訓練を行いました。また、台風 21 号被害による災害ボランティア活動に取り組み、災害ボランティア依頼の判断基準等の検討を行いました。

設置・運営訓練	10 月 2 日(月) 参加者 34 名
台風 21 号被害による災害ボランティア活動	支援内容：泥出し、土のう袋づくりほか 10 月 25 日(水) 5 名、 11 月 2 日(木) 5 名 12 月 4 日(月) 1 名、 12 月 6 日(水) 3 名 12 月 9 日(土) 3 名

### ②名張市や関係機関との連絡会議の開催

災害ボランティアセンター設置マニュアル作成プロジェクト会議として災害ボランティアと名張市とが集い、訓練内容や災害ボランティア活動の判断基準等協議をすすめました。

プロジェクト会議	4 月 25 日(火)～3 月 6 日(火) 計 8 回
----------	------------------------------

## (5) 福祉まちづくりセンター事業

### 1. 相談、活動支援

#### ①ボランティアコーディネーターによる相談、活動支援

福祉まちづくりセンターはショッピングセンターリバーナ（イオン名張店）3 階に設置され、夜は 20 時、土日祝も開いていることから、ボランティア相談やボランティア保険の加入、助成事業の申込など住民の利便性を高めることができました。

相談実績(相談区分と件数)

ボランティア 相談区分	新規	継続	延べ	ボランティア以外 相談区分	新規	継続	延べ
ボランティア依頼	105	249	354	情報提供等	30	15	45

ボランティア希望	29	13	42	社協事業問合せ	801	256	1,057
活動支援	18	2	20	受付(申込等)	523	107	630
情報提供	7	2	9	問合せ(軽微なもの)	534	58	592
情報発信	3	0	3	助成受付	27	3	30
その他	6	1	7	その他	284	17	301
計	168	267	435	計	2,199	456	2,655
				窓口利用者数	1,627		

## ②会議室等利用等実績

利用件数	利用団体	利用者数
185 件	96 団体	1,330 名

## ③イベント企画を通じたボランティア団体等の参画促進

活動者のみならず、広く住民に周知しボランティア活動にふれてもらうため、遊び感覚で参加できるイベントを実施し、センターやボランティア活動の周知に努めました。

イベント開催回数	参加延べ人数(協力者含む)
411 回	3,663 名

## ④イベント等ボランティア活動の場づくり事業

ボランティア団体等と協働でイベントを実施しました。

開催日	イベント内容	参加数
4月29日(土)	写真立てづくり	12名
5月5日(金)	サンドアート	8名
5月1日(月)～ 5月10日(水)	七夕飾りをつくろう	26名
5月17日(水)～ 5月31日(水)	「しあわせ写真」フォトコンテスト 展示：6月25日(月)～7月7日(金)	8名
7月2日(日)	大正琴・ゆみ琴・ハーモニカ合同演奏会	20名
8月27日(日)	スライムづくり体験	28名
10月29日(日)	ハッピーハロウィン♪ニコちゃんクッキーをつくろう!	15名
11月3日(金)	スノードームづくり	20名
11月4日(土)	偏光シート万華鏡	15名
11月5日(日)	子どもなんでも体験団 「不思議アートのぞき箱をつくろう！」(子ども対象)	子25名 親28名
12月24日(日)	おもちゃ図書館&おもちゃばこ合同クリスマス会(親子対象)	子25名 親21名
3月3日(土)	「お雛さまのガーランドと三色だんご」づくり(親子対象)	子9名 親4名

## 2. 広報啓発

福まち新聞	月2回(1日、15日)発行 Vol.68～91
テレビ動画モニター	ボランティアの活動紹介
情報発信、啓発	・ホームページやフェイスブック、ツイッター

(随時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の広報紙やボランティアに関するチラシ等の設置</li> <li>・イオン名張店1階名張忍ラウンジでの掲示や館内放送の利用</li> <li>・イオン名張店1階レジ後ろのサッカー台にイベント予定表の設置</li> <li>・センターフロア内にボランティア活動団体紹介のパネル展示</li> <li>・なばボラネットの活用</li> </ul>
地域活動情報紙 「なばりんく」	年6回偶数月 No.37~42 市内44か所に配置 小・中学校213クラスに掲示(一部児童への配布あり) ・子ども版「なばりんく」 年2回(9月、1月)小・中学校213クラス掲示

### 3. 人材育成

#### ①「地域福祉」担い手養成事業の実施

「地域で何か人のために活動してみたい」と考えている方や、現在、市内各地域で地域福祉に取り組んでいただいている方を対象に養成講座を開催しました。

実施講座	内容
認知症予防講演会&脳の健康 教室説明会	4月12日(水) 参加者16名 9月6日(水) 参加者21名
脳の健康教室サポーター 説明会	4月19日(水) 参加者8名 9月26日(火) 参加者12名
脳の健康教室	第1クール(20回)5月10日(水)~9月27日(水) 受講者8名、サポーター10名 第2クール(20回)10月11日(水)~2月28日(水) 受講者10名、サポーター12名
スクエアステップリーダー 養成研修 ※再掲	実施日:7月28日(金)、8月1日~23日(選択実習)、 9月15日(金) 参加者25名
傾聴ボランティア 講演会・交流会	10月13日(金) 講演会参加者23名 三重県立看護大学出前講座講演会 10月13日(金) 交流会参加者10名
生活支援員養成講座	第1回 1月11日(木)、第2回 1月25日(木) 受講者17名(うち登録者12名)
スクエアステップ教室	期間:4月~3月 毎月第2・4水曜日 全24回 延べ参加者364名

#### ②子育て支援員養成研修の実施

こども支援センターかがやきと連携し、子育て支援や働く女性のための支援活動を実施しました。

実施講座	内容
子育て支援員養成研修	6月5日(月)~7月11日(火) 7日間 参加者130名

働く女性の為の就職セミナー	5月26日(金) 参加者 40名
---------------	------------------

#### 4. 傾聴ボランティアの活動支援

毎月定例会を開催して、活動状況や気になることなどを共有しました。

活動延べ人数	383名(実活動者21名)
訪問施設数	4月～9月：6施設×6ヵ月      10月～3月：5施設×6ヵ月

#### 5. 地域福祉教育

##### ①子どもたちのボランティア活動機会の提供

社会福祉施設を利用している人々や職員と共に活動し、交流を深め、子どもたちがボランティア活動へ参画するためのきっかけづくりを実施しました。

ふれあい活動	参加校：つつじが丘小学校    活動施設：昭和保育園 8月7日(月) 台風により中止 8月8日(火) 児童7名、    8月10日(木) 児童7名
保育士体験	昭和保育園    7月26日(水) 参加2名、7月27日(木) 参加2名

##### ②福祉体験(出前講座)の実施

児童・生徒に各種体験学習を出前講座として実施し、障害等についての気づきや理解を深めるとともに児童・生徒が自らの生活の中でできることを考える場を提供しました。

10月10日(火)	名張中学校 1年生    車いす体験・アイマスク体験
2月6日(火)	箕曲小学校 4年生    車いす体験・アイマスク体験

#### 6. 交流活動

##### ①おもちゃ図書館サロン事業「おもちゃばこ」、移動おもちゃ図書館の実施

おもちゃばこ	第2・4日曜日(保護者210名、子ども293名)
移動おもちゃ図書館	5回/2団体(ボランティア延べ3名)

##### ②家族介護者の会「楓の会」共催による事業実施

さくら喫茶	毎月1回(計11回) 参加者69名
介護者のつどい	9月29日(木)施設見学と食事会 参加者23名(楓の会11名、一般10名、市職員2名)

##### ③市内障害者福祉施設等による「福祉のおみせ」の出店支援

出店団体	名張育成園ういず、Kobo れもんぐらす、アガペの家
------	----------------------------

#### (6) 福祉団体等当事者活動支援

##### i. 福祉団体等との連携・協働の強化、当事者活動支援

##### 1. 福祉団体の自立運営支援と協働

各福祉団体(老人クラブ連合会、身体障害者互助会、遺族連合会、保護司会)との「事務に関する覚書」を本年度も締結し、団体運営に必要な事務補助や各会議の日程調整等の支援を行いました。

## 2. 家族会等の活動支援

### ①家族介護者の会「楓の会」運営支援

家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援とともに、「さくら喫茶」や「介護者のつどい」を共催しました。

### ②精神障害者家族会「なばるの会」との連携

毎月1回定例会に出席し、情報提供や活動支援に取り組みました。

### ③障害者スポーツ大会実行委員会事務局運営支援

3 障害(知的・精神・身体)を代表する団体が主体となり関係機関・団体等が参画して組織する「障害者スポーツ大会実行委員会」の事務局として、大会運営並びに開催支援を行いました。

9月24日(日)	参加者 370 名、実行委員・協力者等 119 名 実行委員会(4回実施)
----------	--

## 3. とれたて名張交流館事業への参画

2ヵ月ごとに開催される運営協議会に参加し、「福祉のおみせ」の出店支援並びに「福祉のおみせもっと知ってよキャンペーン」を行い啓発に取り組みました。

福祉のおみせもっと知ってよキャンペーン	3月3日(土)・4日(日)1,000円以上お買い上げで「福祉のおみせ」商品に使える商品券を贈呈
---------------------	---

## 4. 追悼式開催支援

各地域づくり組織や地区遺族会が開催する追悼式への助成を行いました。(10地区)

## 5. 交流活動

### ①みんなでいっしょに唄いませんかの開催

高齢者や障害者、子育て中の親子等を対象に、音楽を通じ世代を超えた交流と社会参加の場を提供しました。

実施内容	毎月1回(計12回) ふれあいホール 530名(初参加13名)
------	---------------------------------

### ②おもちゃ図書館の運営

開館日数	195日
利用者数	2,059名(大人896名、子ども1,163名)初来館49組
協力ボランティア	2名(活動日数 16日)

## ii. 社会福祉協議会組織構成会員の増強

社協会費実績	5,979,115円
組織構成会員	第1種～第8種 189団体
地域づくり組織活動助成金	2,881,500円

## iii. 共同募金配分事業、歳末たすけあい運動配分事業

### 1. 名張市共同募金委員会の運営

住民参画による共同募金運動をすすめるため、三重県共同募金会とともに「名張市共同募金委員会」活動を展開しました。

運営委員会	委員 10 名 開催 5 回、監事 2 名 監査 1 回
-------	------------------------------

## 2. 共同募金運動の展開

### ①地域づくり組織とともに、戸別募金への協力と活用周知

各地域づくり組織の会合等において、募金協力依頼と活用についての説明を行い、理解と協力をお願いしました。

### ②共同募金実績 9,489,911 円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	1 世帯あたり 500 円を目安に、全世帯に協力を依頼
街頭募金	市内スーパー等 14 店舗にて 30 ヶ所実施(協力 219 名)
法人募金	市内の企業等へ依頼(依頼 286 法人、協力 108 法人)
学校募金	小学校 14 校、中学校 5 校、高校 3 校、高等専門学校 1 校
職域募金	市や小中学校をはじめ、市内の社会福祉法人や企業等の職員へ依頼(依頼 40 職域、協力 32 職域)
イベント募金	イベントでの募金箱設置や模擬店による啓発(10 ヶ所 11 日間)
個人募金	しあわせ川柳集等の共同募金啓発グッズ、募金機能付き自動販売機やマッサージ機利用による募金並びに、ボランティア活動の場や店舗・市役所等への募金箱設置(協力 169 件)
UMOU募金	主に市内から羽毛製品回収 53 点

### ③歳末たすけあい募金実績 2,923,934 円

募金の種類	実施、依頼等の内容
戸別募金	1 世帯あたり 100 円を目安に、全世帯に協力を依頼
個人募金	名張市仏教会様、個人 6 名様より寄附
法人募金	法人 1 社より寄附

### ④法人募金、職域募金、学校募金の協力拡大

伊賀タウン情報ユ-のご協力により、法人募金をすすめました。また、三重県共同募金会による「共同募金運動発展強化モデル推進事業」を活用し、「多様な企画と多様な人・団体・機関で創る共同募金運動仕組みづくり事業」を実施し、募金協力者の拡大につとめました。

共同募金運動発展強化モデル推進事業	①「福祉のまちづくり！赤い羽根共同募金エコキャップアート」 ②共同募金オリジナルコースター作成 ③助成団体と共に行う募金運動
-------------------	--

### ⑤災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受け付けを行い、三重県共同募金会を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
平成28年熊本地震義援金	H28. 4. 15～H31. 3. 31	51,642 円
秋田県大雨災害義援金	H29. 7. 27～H29. 8. 31	451 円

### 3. 助成事業を通じた活動支援

#### ①地域福祉活動助成事業の実施

各財源に基づく委員会等での審査・決定により、地域福祉活動団体への活動助成を通じた支援を行いました。平成28年度の募金運動実績に基づき本年度7,416,826円の配分を受け、地域福祉活動への助成支援並びに社協事業に活用しました。

助成内容	金額
地域づくり組織が取り組む福祉活動	1,318,240円
地域福祉活動助成事業	5,494,910円
社協事業	603,676円

#### ②歳末たすけあい運動配分事業

本年度は2,923,934円の募金協力と配分を受け、歳末たすけあい運動配分事業及び広報啓発事業への活用として全額配分しました。

## iv. 地域福祉活動助成事業

### 1. 地域福祉活動助成事業

地域福祉活動に対して助成を行いました。

事業名	助成額	財源 (団体数)
地域見守り配食事業	1,082,000 円	共同募金配分金 (8)
	369,500 円	善意銀行寄附金 (2)
地域見守り事業	2,525,000 円	共同募金配分金 (80)
ひとり暮らし高齢者のつどい事業	287,100 円	補助金 (9)
ボランティア活動事業	1,371,910 円	共同募金配分金 (32)
福祉協力校活動事業	516,000 円	共同募金配分金 (21)
当事者・家族会活動事業	185,000 円	善意銀行寄附金 (6)
福祉活動備品整備事業	500,000 円	善意銀行寄附金 (1)

## v. 善意銀行事業

### 1. 適正な運用管理

住民からの寄附を受け効果的に配分・活用することを目的として、善意銀行の運営を行いました。

#### ①名張市善意銀行運営委員会

6月5日(月)	平成28年度寄附の受領実績と配分について 平成28年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 平成29年度事業計画(補正案)について 平成29年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について
3月15日(木)	平成29年度寄附状況と配分(支出)状況について 平成30年度事業計画(案)について

②寄附受領実績

種 別	件 数	金 額
現金の寄附	21 件(うち指定寄附 1 件)	1, 241, 784 円

2. 計画的な運用

事業内容	金 額	備 考
(1) 罹災者救援要綱に基づく見舞金	61, 544 円	火事見舞(全焼)3 件
(2) 地域見守り配食事業	369, 500 円	2 団体
(3) 福祉活動備品整備事業	500, 000 円	1 団体
(4) 当事者・家族会活動事業	185, 000 円	6 団体
(5) 車いす一時貸出事業	39, 960 円	修理 4 台、点検 30 台
(6) 名張市ふれあい“絆”事業(生活困窮者支援)	0 円	食糧・水
(7) 指定寄附	15, 000 円	名張養護学園
合計	1, 171, 004 円	

vi. 日本赤十字社名張市地区事業

1. 日本赤十字社名張市地区事業

①赤十字運動月間における赤十字活動の周知と活動資金の募集

日本赤十字社の人道的諸活動を行うための活動財源として、地域づくり組織を通して、全世帯を対象に一世帯あたり 500 円を目安にお願いしました。

日赤活動資金の実績

活動資金の内容	金 額
各世帯	6, 677, 268 円
法 人	532, 758 円
個人・寄附箱	27, 563 円
合 計	7, 237, 589 円

②活動資金募集にかかる地域づくり組織への協力依頼

4 月から 6 月にかけて 15 地域の会合に出向き、年間通じて取り組む各種資金募集への協力を依頼しました。

③地域づくり組織への福祉活動助成、講習会開催の促進

地域づくり組織における福祉活動支援として、日赤交付金より 667, 700 円を助成しました。また、市内のさまざまなイベントの開催に際し、日本赤十字社三重県支部より救護要員の派遣を 5 回、赤十字講習会の講師派遣を 5 回行いました。

④災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受け付けを行い、日本赤十字社を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
東日本大震災義援金	H23. 3. 14~H31. 3. 31	9, 774 円

平成28年度7月5日からの大雨災害義援金	H29. 7. 7～H30. 3. 30	18,567 円
台風21号三重県災害義援金	H29. 10. 31～H30. 1. 31	1,063 円

## vii. 名張市社会福祉協議会窓口サービスの向上

社協に寄せられるさまざまな問合せや相談等に対応し、窓口サービスの向上に努めました。

### 1. 地域福祉活動支援備品の貸出

地域福祉活動を支援するため活動に役立つ各種備品を貸し出しました。

貸出件数	614 件 プロジェクターや模擬店機材等(43 件) 地域福祉教育備品(18 件)、楽器等(24 件) 他
利用団体数	延べ 128 団体

### 2. 車いす無料貸し出し事業

市民団体や企業等から寄贈いただいた車いすを、名張市にお住まいでケガ等により一時的に必要とされる方への支援として延べ 150 件貸し出しました。

使用目的	貸出件数
通院や通学のため	54 件
買物等行楽のため	90 件
自宅内での移動のため	6 件

## I-3. なばり暮らしあんしんセンター

### (1) 福祉サービス利用援助事業

#### 1. 日常生活自立支援事業

なばり日常生活自立支援センターの相談件数は、前年度より 581 名増加しましたが、契約締結は同じ件数でした。実利用人数は5名減少しました。初回相談件数は17件も増加し、認知症や知的障害、精神障害等で判断能力に不安のある方々の本事業利用希望は増加傾向にあります。解約者については21名で、後見人への引継ぎは7件と一番多く、次いで転居7件・施設入所3件・死亡2件と成年後見事業と連携し切れ目のない権利擁護にも努めました。

#### ①相談援助件数等

事項/対象者	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	合計
問合わせ件数	3	0	1	0	4
初回相談件数	25	16	7	4	52
相談援助件数	1,201	2,147	1,709	288	5,345
契約締結件数	5	8	3	0	16
終了件数	11	7	3	0	21
実利用人数 (平成 29 年度末)	10	24	21	4	59

## ②生活支援員活動の推進

生活支援員 担当件数	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
	8	22	22	2	54
活動者 22名(登録者23名、内新規0名、退職1名含まず) 生活支援員による支援 54件 / 59件 支援員対応率91%					

## ③「地域福祉」担い手養成研修～生活支援員養成講座～の開催

全2回	1月11日(木)、1月25日(木)
	受講者数17名、生活支援員登録者数12名

## ④生活支援員定例会と研修会の開催

現在活動中の生活支援員を対象に、年3回定例会と研修を行いました。

第1回 9月14日(木)	・テーマ「施設見学」ブリヂストンケミカル株式会社
第2回 11月9日(木)	・三重県社協主催「生活支援員研修会」 講演 「利用者との関係づくりと支援方法」 パネルディスカッション「支援のあり方を考える」
第3回 3月22日(木)	・テーマ「生活保護制度について」

## 2. 関係機関との連携

契約締結審査会のほか、権利擁護に関する各種協議会、連絡会等において、関係機関と情報の共有や支援の連携を行うことで質の高い支援を実施しました。

会議等への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会</li> <li>・名張市共生地域デザイン会議(権利擁護部会)</li> <li>・名張市地域包括支援センターと伊賀地域福祉後見サポートセンターとの連絡会</li> </ul>
---------	---

## (2) 成年後見事業

### 1. 法人後見等の受任

親族関係や経済的な理由等により適切な後見人等を得られない方々に対して、法人が後見の受任をし、財産管理や身上監護を行うことで、安心して生活ができるよう支援をしました。

10月より新たに1件(後見)受任しました。

(平成29年度受任件数：後見6件、保佐2件)

支援実績	来所	訪問	電話	合計
後見(6件)	22	274	372	668
保佐(2件)	12	147	179	338

### ①法人後見支援員の育成・活用

被後見人等の居所訪問を行う法人後見支援員を育成し、法人の強みである身上監護面の対応を中心に法律関係者等と連携して法人後見業務に取り組みました。

(法人後見支援員数：5名／担当件数6名)

## 2. 法人後見受任委員会の開催

法人後見受任の検討や適切な法人後見業務の実施のため、法人後見受任委員会を市内外の法律関係者、学識経験者、民生委員・児童委員、名張市等の参画のもと4回開催しました。また、第25回では新たな成年後見人候補者就任について審議しました。

開催回数・日程	検討項目
第24回 5月29日(月)	1. 法人後見受任者の経過報告と支援計画について 2. 成年後見人等候補者就任審査 3. 法人後見啓発勉強会 4. 法人後見視察研修について 5. 成年後見制度利用促進法について
第25回 8月30日(水)	
第26回 11月29日(水)	
第27回 3月7日(火)	

## 3. 受託法人としての運営強化

地域における成年後見制度の啓発のための研修会や関係機関とのネットワークの強化、権利擁護に関する総合相談等を実施し、地域で安心して生活が送れるよう受託法人としての総合的な運営の強化に努めました。

### ①成年後見制度に関する勉強会の開催

日程	活動内容
10月26(木)	法人後見啓発勉強会・意見交換会(成年後見制度法人後見支援事業) 「親なきあと」子どもが自分らしく生きていくために ～法人後見について考える～ 「成年後見制度について」(講演)・「法人後見について」(意見交換会) 場 所：名張市防災センター 防災研修室 参加者：勉強会 51名・意見交換会 7名
3月9日(金)	法人後見視察研修 視察先：NPO 法人 となみ地域障害者成年後見福祉会 名張市より4名で訪問。 (名張市社会福祉協議会職員2名、名張市障害福祉室職員1名、 名張市手をつなぐ育成会理事1名)

### ②関係機関とのネットワーク形成

会議、研修等への参画	・伊賀地域福祉後見サポートセンター(運営委員会、名張市地域包括支援センターとの情報交換会) ・法人後見啓発勉強会企画会議 (NPO 法人 名張市手をつなぐ育成会) ・津家庭裁判所伊賀支部との連絡会
------------	---

### ③権利擁護に関する総合相談

関係機関と連携しながら、成年後見制度の申立や、高齢者及びその家族からの先々の生活不安への相談等に関する相談支援を行いました。

相談・対象 区分	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	計
新規相談	1	3	1	1	6
継続相談	0	0	0	0	0
問合せ	0	0	0	0	0

### (3) 生活困窮者自立支援事業

さまざまな生活課題を抱える生活困窮者に対し、仕事に関する問題、金銭に関する問題、健康の問題、家族の問題等、本人と共に課題を整理することで、目標を定めて支援プランを作成し、包括的かつ継続的な支援を実施しました。また、被保護者に対する自立支援も実施することで、切れ目のない一体的な支援を行いました。

#### 1. 総合的な相談支援体制の確立

「なばり暮らしあんしんセンター」において、個人を対象とする相談支援業務を一体的に実施することで、日常生活自立支援事業や福祉資金貸付事業等、社協が持つ社会資源を有効に活用しながら、複合的な生活課題を抱える生活困窮者に包括的な対応をしました。

また、相談支援員の各種相談支援事業に対する理解を深め、スムーズな連携と適切な支援のコーディネートを行いました。

#### 2. 関係機関との連携体制の強化

名張市福祉子ども部生活支援室や名張市地域包括支援センター、名張市家庭児童相談室等と連携して支援を行う他、まちの保健室や民生委員・児童委員などの地域の関係機関との連携も強化することで、複合的な生活課題を抱える困窮世帯に対して、さまざまな角度から支援を行いました。また、多課題を抱えるケースに対しても、より適切な支援を行いました。

#### 3. 自立相談支援事業

##### ①自立相談支援の実施

一人ひとりに寄り添った丁寧なインテークから、本人と共に、本人が抱える課題を整理し、プランに基づく支援を行いました。

相談件数(延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	71	66	60	33	49	46	61	44	30	38	16	56	570
訪問	34	48	45	43	41	24	18	24	7	10	4	3	301
来所	37	25	34	17	31	19	41	32	31	23	9	11	310
合計	142	139	139	93	121	89	120	100	68	71	29	70	1,181

##### ②支援調整会議の開催

支援内容を検討し、支援の可否を判断するとともに、地域における課題の共有と改善を目的として、支援調整会議を原則月1回、関係機関と定期的に行いました。

### 支援決定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	2	4	1	1	1	0	1	2	0	2	0	0	14
評価・再プラン	5	5	2	2	2	3	1	5	0	2	0	8	35
モニタリング・検討	1	2	3	2	5	3	3	0	0	11	0	0	30
合計	8	11	6	5	8	6	5	7	0	15	0	8	79

### ③社会資源の活用と開発

#### ア. 名張市ふれあい“絆”事業

さまざまな既存の支援で支えきれない緊急対応として「名張市ふれあい“絆”事業」を運用するなかで、本年度は1件緊急食糧等の提供を行いました。

#### イ. 生活困窮者支援緊急食糧提供事業および緊急時物品等支援事業

三重県社会福祉協議会の実施する生活困窮者支援緊急食糧提供事業を活用し、食糧に困っている相談者に迅速な対応を行いました。また、食器やカイロ等必要な日用品の購入のため、緊急時物品等支援事業を積極的に活用しました。

#### 支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急食糧提供事業	2	3	3	2	3	1	4	3	2	5	1	0	29
緊急時物品等支援事業	0	1	0	2	0	0	1	2	2	3	1	0	12
合計	2	4	3	4	3	1	5	5	4	8	2	0	41

### ④離職者等に対する迅速な支援

離職者等に対し、住居確保給付金の検討や、生活保護受給者等就労自立促進事業、無料職業紹介所による就労支援等を実施することで、生活保護に至る前の段階で、早期の自立支援を実施しました。

#### ア. 生活保護受給者等就労自立促進事業支援実施状況

	20代	30代	40代	50代	60代	就職率
男性	1名	0名	0名	0名	0名	100%
女性	1名	0名	0名	0名	0名	100%

#### イ. 無料職業紹介所支援件数

求人		求職	
事業所件数	うち新規求人登録	新規求職登録者数	うち就労者
6件	2件	4件	0件

⑤三重県居住支援連絡会への参画

三重県あんしん賃貸支援事業実施要領に基づき、名張市とともに、居住支援団体として三重県に登録し、三重県居住支援連絡会の活動に参画しました。

2月3日(土)	名張市主催「すまいの活用相談会」にてブース出展協力
---------	---------------------------

4. 被保護者就労支援事業

①切れ目のない一体的な支援

被保護者に対する就労支援を生活困窮者の支援と一体的に行うことで、切れ目のない一貫した支援を継続的に実施しました。

相談件数(延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	9	0	10
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
来所	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	0	5
合計	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	13	0	18

②稼働能力判定会議の開催

自立相談支援事業の支援調整会議と一体的に運営し、情報の共有を図りました。

支援決定	5月 1件、 11月 1件、1月 1件	合計 3件
その他・協議	7月 1件、 8月 2件、11月 1件、2月 1件	合計 5件

5. 就労準備支援事業／被保護者就労準備支援事業

すぐには就労することが困難な生活困窮者及び被保護者に対し、「生活自立支援」「社会自立支援」並びに「就労自立支援」を段階的に行い、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を実施しました。

①支援実施状況

ア. 就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	0	5	9	8	14	7	10	8	4	4	0	0	69
訪問	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
来所	7	5	1	0	8	0	1	2	4	2	3	2	35
体験	0	5	9	8	12	7	10	8	4	3	0	0	66
合計	7	15	19	16	34	14	22	18	12	9	3	2	171

※体験には見学も含む

イ. 被保護者就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
--	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----

電話	18	14	25	20	21	21	21	12	23	15	9	10	209
訪問	2	1	2	0	1	0	0	6	0	0	0	2	14
来所	0	0	0	0	1	0	3	0	2	0	0	0	6
体験	12	6	11	11	11	20	20	13	5	9	9	11	138
合計	32	21	38	31	34	41	44	31	30	24	18	23	367

※体験には見学も含む

## ②協力事業所における就労体験

地域内の事業所より協力を得て、各事業所で行う業務の一部を継続的な就労体験の場として提供し、社会経験を蓄積することで、社会的能力の形成のための支援を行いました。

支援実施状況(延べ件数)

登録事業所名	体験	見学	登録事業所名	体験	見学
隠おたがいさん	0	0	ASA ネットワーク桔梗が丘西部	0	1
あぐりの杜	101	1	NPO 法人アガペの家	93	1
特別養護老人ホーム国津園	0	1			
名張特別養護老人ホーム	5	1	6 事業所 合計	199	5

## 6. 家計相談支援事業

### ①家計再生のための分析や再建プランの提案

公共料金や家賃の支払いが計画的に行えない等の家計に関する生活課題を抱えている相談者に対して、家計に特化した専門的な助言・指導を行うことで、相談者が主体的に家計管理に取り組めるよう、早期の自立を目指した支援を実施しました。

### ②債務整理に関する支援

多重債務解決支援プログラムを活用し、債務整理に関する伴走型の支援を行うとともに、多重債務に至った背景に目を向け、これまでの家計管理を見直し、生活再建に向けた支援を実施しました。

### ③貸付の斡旋

離職等により一時的に生活を維持することが困難となった生活困窮者に対し、就労支援と家計支援を併用し、再就職後の初回給料までのつなぎ資金を斡旋する等、伴走型支援に合わせて貸付を利用することで、効果的な自立支援を実施しました。また、「貧困の連鎖」を防ぐべく、教育支援資金の斡旋も積極的に行いました。

### ④支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	19	23	30	26	28	25	46	19	7	13	5	36	277
訪問	3	20	22	19	17	13	13	7	3	4	0	1	122
来所	5	8	15	6	14	10	21	7	3	3	0	3	95
合計	27	51	67	51	59	48	80	33	13	20	5	40	494

## (4) 生活福祉資金等貸付事業

貸付という経済的支援に、緊急食料提供事業や家計相談支援事業の様々な自立支援や地域での見守りを組み合わせることで、セーフティネットとしての貸し付けを行いました。

## i. 地域福祉金庫貸付事業

### 1. 地域福祉金庫貸付事業

生活困窮者等に対して、緊急かつ一時的な出費により生活を維持することが困難なときなどに3万円を上限に貸付の支援を行いました。

また、生活保護申請世帯に対しては、保護費が支給されるまでの生活費のつなぎ資金の貸付を行いました。

貸付金額	1,351,000円(67件)
償還額	1,578,500円(82件)
未償還額(過年度分含む)	1,236,500円(62件)

### 2. 名張市国民健康保険出産費資金貸付事業

国民健康保険に加入しており、出産育児一時金の支給を受けることができる世帯に対して貸し付ける事業ですが、現在は償還のみとなっています。

過年度分	償還額	15,000円	未償還額	45,000円(1件)
------	-----	---------	------	-------------

## ii. 生活福祉資金貸付事業

比較的所得が少ない世帯(低所得世帯)、高齢者世帯、障害者世帯に対して独立自活、生活安定を図るため、次の通り貸付を行いました。

相談者の世帯は複合的な生活課題があることが多いので、経済的支援に併せて生活困窮者自立支援事業を併用することでより包括的な支援を実施しました。

### ①相談及び貸付内容

資金の種類		相談件数 (実数)	相談件数 (延べ数)	貸付件数	貸付金額
総合支援資金		4	20	0	0円
福祉資金	療養費・介護費	13	31	0	0円
	福祉費	12	39	0	0円
	福祉費(住宅)	15	18	0	0円
	障害者自動車購入費	10	96	2	1,520,000円
	生業費	4	22	0	0円
	技能習得費	12	31	1	665,000円
	緊急小口資金	45	281	8	680,000円
教育支援資金		18	191	3	5,166,000円
不動産担保型生活資金		6	32	0	0円
その他		3	8	0	－円
合計		142	769	14	8,031,000円

### ②長期滞納者面談

面談日(面談者数)	2月26日(1名)
-----------	-----------

## Ⅱ 【在宅福祉サービス拠点】（介護支援課）

### （1）事業経営管理体制の整備

#### 1. 経営管理体制の整備

##### ①事業実績

事業名	事業実績	摘要				
老人デイサービス事業	<p>【事業目標の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25.5名/日</td> <td>24.3名/日</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●稼働率：79%</li> <li>●平均介護度：2.58</li> <li>●延べ利用者比率 介護：97%・予防：3%</li> <li>●75歳以上比率：93%</li> <li>●各種加算の取得 <ul style="list-style-type: none"> <li>・処遇改善加算Ⅰ</li> <li>・サービス提供体制加算Ⅱ</li> <li>・中重度対応加算</li> </ul> </li> </ul>	目標	実績	25.5名/日	24.3名/日	<p>次期制度改正に向け、要介護度の高い方でもしっかりと受け入れることができるように「中重度ケア体制」の要件を整備し、要介護3以上の利用者比率が50%以上となっています。中重度の利用者を受け入れているため、死亡・入所・入院や当日キャンセル等もあり、実利用者数の担保が難しく、実績については目標達成が出来ませんでした。より安定的に専門ケアを提供していくためにも、人材確保と人材育成が大きな課題となっています。</p>
目標	実績					
25.5名/日	24.3名/日					
訪問看護事業	<p>【事業目標の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.3名/日</td> <td>14.1名/日</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平均介護度：3.1</li> <li>●延べ利用者比率 介護：83%・予防：1% 医療：16%</li> <li>●75歳以上比率：80%</li> <li>●地区比率 名張：67%・市外：33%</li> </ul>	目標	実績	14.3名/日	14.1名/日	<p>社協において医療看護サービスを実施していることは今後の地域包括ケア推進において大きな強みとなることから、適正規模による効率的事業経営に向けた職員確保を目指しましたが、人材確保には至りませんでした。小規模事業所では利用者の入退院等が事業全体に大きく影響する傾向にあり、事業経営上も大きな課題となっています。そのような状況下においても、小児難病ケースへの対応や、保険外対応等、利用者・家族の療養支援に積極的に努めました。</p>
目標	実績					
14.3名/日	14.1名/日					
居宅介護支援事業	<p>【事業目標の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>195件/月</td> <td>187.5件/月</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ケアマネ一人当たり：31.3</li> <li>●平均介護度：2.52</li> <li>●要介護度3以上比率：47%</li> <li>●延べ利用者比率 介護：96%・予防：4%</li> <li>●75歳以上比率：88%</li> </ul>	目標	実績	195件/月	187.5件/月	<p>「特定事業所」（質の高いケアマネジメントを実施する事業所）として、独居・老々介護、生活困窮、権利擁護等の介護保険制度のみでは対応できないケースに対しても積極的に対応し、地域福祉的支援に努めました。今後は、医療・介護連携、多職種連携の要としての機能強化も併せて図っていきます。</p>
目標	実績					
195件/月	187.5件/月					

##### ②経営管理体制の整備

業務管理体制の整備	各種法令に則った事業を適正に実施しながら、事業経営課題（業績の管理やサービスの質の維持向上、勤務する職員管理）の共有と、事業区分を越えて総合的に協議し、健全な経営とサービス提供に努めました。						
	事業運営管理会議	課長・各事業管理者	15回/年				
	事業所運営会議	居宅介護	38回/年				
		訪問看護	12回/年				
		通所介護	7回/年				
老人福祉センター		9回/年					
業務の標準化	【サービス向上検討委員会の実施】 各事業所においても、サービス向上に向けた課題を従事する職員全員で共有・検討する場を設け、よりよいサービス提供の取組みに努めました。						
	サービス向上検討委員会	課長・各事業管理者	12回/年				
	看護師部会	各事業所看護師	感染：15回/年 人材：4回/年				
	地域貢献部会	デイサービス・居宅	2回/年				
	※平成29年度は、看護師部会を設置し、事業所間の医療・介護連携の必要性について検討できる機会としました。						
	【介護予防事業体験・見学】 課内において、総合事業に位置づけられる介護予防事業の体験及び見学会を実施しました。						
	【法令遵守・リスクマネジメント】						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険事業者集団指導への参加</li> <li>・感染症対策委員会の設置</li> <li>・三重県感染症予防普及啓発推進者養成研修及び感染症情報化コーディネータースキルアップ研修会への参画</li> <li>・リスクマネジメント実績</li> </ul>						
		事業名	相談 受付票	ひやり ハット	事故	苦情	計
		居宅介護支援	2	0	1	0	3
	訪問看護	2	0	0	0	2	
	通所介護	23	0	3	0	26	
	老人福祉センター	0	0	1	8	9	
	計	27	0	5	8	40	

## 2. 人材確保・人材育成

人材育成	【階層別研修会への参画】 三重県社会福祉協議会が実施する「キャリアパス対応生涯研修事業」を活用し、リーダー職以上の研修機会を確保し、キャリアパスと職務の理解を深めました。					

	居宅介護支援	訪問看護	通所介護	老人福祉センター
管理者コース	1	1	0	0
チームリーダーコース	2	2	1	0
中堅職コース	2	1	2	0

【介護支援課内研修会の実施】

- ・介護支援課実践研修会の実施  
(平成 29 年度は、新規採用の看護師を対象に全事業所への実習研修を実施)
- ・認知症初任者研修会の実施  
(平成 29 年度は通所介護事業所主催の研修会に課内職員が参画)

【専門研修会への参加・事例検討会等の開催】

各事業所において必要な研修会・事例検討会などの参加・開催

【目標管理制度】

管理者が主体的に配属職員への具体的指導・助言ができるよう、課員全員の目標内容を確認し、面談を行いました。

また、平成 29 年度より非正規職員の考課制度が導入され、職務と責任の明確化を図りました。

## (2) 事業別取組み実績

### 1. 通所介護事業 (在宅介護支援)

デイサービスセンターにおいて、入浴・食事・機能訓練・レクリエーションを提供し、利用者の方の自立支援及びご家族の介護負担軽減に努めました。

#### ①年間利用者数

給付種別	年間実利用者数		年間延利用者数	
予防 (要支援 1 及び 2)	43	5%	258	3%
介護 (要介護 1 から 5)	747	95%	7,238	97%
計	790		7,496	

#### ②利用者の特性

##### ア. 年齢

	65 歳未満	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上	(内 85 歳以上)
実利用者数	6	69	715	427
	1%	9%	90%	54%
延利用者数	53	487	6,956	4,223
	1%	6%	93%	56%

##### イ. 要介護区分

	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
実利用者数	43	152	171	232	127	65
	6%	19%	22%	29%	16%	8%
延利用者数	258	1,131	1,886	2,476	1,182	563
	3%	14%	25%	33%	18%	7%

### ③交流事業の実施

昭和保育園交流事業	23回
-----------	-----

### ④ボランティアによる支援

団体数(個人含む)	延日数	延支援者数
11	160日	526名
内容		
・傾聴 ・コーラス ・手話 ・演歌、唄 ・盆踊り ・琴演奏 ・太鼓演奏 ・ハーモニカ演奏 ・三味線演奏 ・二胡演奏 ・レクリエーションダンス		

### ⑤人材養成への協力

内容	日数	対象者数
中学生職場体験	3日間	2名
介護初任者研修実習	2日間	1名
シニアいきいきチャレンジ教室(三重県社協)実習	4日間	3名

### ⑥その他

ふれあい通信(行事予定や職員からのワンポイントアドバイス等)の発行(毎月発行)

## 2. 訪問看護事業(在宅療養支援)

名賀医師会の協力に基づく訪問看護ステーションとして、名張市及び伊賀市旧青山町をエリアに、訪問看護師が主治医及び介護支援専門員と連携しながら生活の場へ赴き、在宅での療養生活支援に努めました。

### ①年間利用者数

給付種別	年間実利用者数		年間延利用者数	
予防(要支援1及び2)	10	2%	41	1%
介護(要介護1から5)	446	85%	2,844	83%
医療(乳幼児から高齢者)	66	13%	553	16%
計	522		3,438	

### ②利用者の特性

#### ア. 年齢

	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上	(内85歳以上)
実利用者数	24 4%	76 15%	422 81%	288 55%
延利用者数	154 4%	540 16%	2,744 80%	1,815 53%

イ. 要介護区分（医療保険分含む）

	医 療	介 護					
		要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
実利用者数	66	10	81	75	81	110	99
	13%	2%	15%	14%	16%	21%	19%
延利用者数	553	41	502	392	419	904	627
	16%	1%	15%	11%	12%	27%	18%

③地域別利用状況

	実利用者数		延利用者数	
名張	358	69%	2,303	67%
伊賀市旧青山町	164	31%	1,135	33%
エリア外	0	0%	0	0%

④24時間 365日の対応（緊急訪問対応件数）

通常 (8:30~17:30)	早 朝 (6:00~8:30)	夜 間 (17:30~22:00)	深 夜 (22:00~6:00)
88	1	14	6
81%	1%	13%	5%

※その他緊急相談対応：202件

⑤関係機関との連携

ア. ケアプラン提供事業所数

居宅介護支援事業所		地域包括支援センター	
名張	伊賀	名張	伊賀
7	4	1	1

イ. 医療機関との連携

	名張市の 医療機関	伊賀市の 医療機関	その他県内の 医療機関
医療機関数	17	7	5
	59%	24%	17%
指示書数	326	166	30
	62%	32%	6%

ウ. その他

会議名	備 考
三重県訪問看護ステーション連絡協議会伊賀地区ブロック会議	名張市・伊賀市の訪問看護ステーション管理者による会議の開催（10回）
名張市訪問看護ステーション連絡会の発足	旧、訪問看護ステーション連絡協議会を連絡会組織へと改変した

### 3. 居宅介護支援事業（相談援助）

介護支援専門員（ケアマネジャー）により、介護を必要とする方の心身の状況、意向を踏まえた居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、各サービスが適切に提供されるよう関係機関との連携・連絡調整を図りました。

#### ①年間利用者数

給付種別	年間延利用者数	
予防（要支援 1 及び 2）	91	4%
介護（要介護 1 から 5）	2,250	96%
計	2,341	

#### 【利用者の特性】

##### ア. 年齢

65 歳未満	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上	(内 85 歳以上)
62	208	2,071	1,156
3%	9%	88%	49%

##### イ. 要介護区分

要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
91	543	658	581	282	186
4%	23%	28%	25%	12%	8%

#### ②24 時間 365 日の対応（緊急相談調整件数）

通常 (8:30~17:30)	早朝 (6:00~8:30)	夜間 (17:30~22:00)	深夜 (22:00~6:00)
193	124	130	1
43.1%	27.7%	29.0%	0.2%

※計：448 件 ※月平均：37.3 件 緊急訪問：2 件

#### ③各種代行業務

(件)

介護保険要介護（更新）認定・要支援（更新）認定申請書	140
要介護認定等資料提供申出書	152
短期入所に係る長期継続利用理由書	0
保険証返還	46
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	55
紙おむつ等給付事業利用申請書	21
軽度生活援助事業利用申請書	8
介護保険居宅介護（支援）住宅改修費支給申請書・住宅改修が必要な理由書	37
介護保険居宅介護（支援）福祉用具購入費支給申請書	4
介護保険負担限度額認定申請書	2
名張市配食サービス事業利用申請書	9
名張市訪問理美容サービス事業利用申請書	1

指定（介護予防）福祉用具貸与理由書	1
通院介助のための乗車又は降車の介助が中心である場合のケアプランの提出	14

#### ④地域包括支援センターへの協力

主任介護支援専門員会議への出席	7回
第1圏域研修会の企画・実施	4回

#### ⑤人材養成への協力

内容	日数	対象者数
平成29年度三重県介護支援専門員実務研修受講者実習受入	3日間	1名

### Ⅲ 【昭和保育園拠点】（昭和保育園）

#### （1）事業の概要

##### 1. 保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども ～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～ ○体力のある子ども ○意欲のある子ども ○友だちと感じあえる子ども
-------------------	---

##### 2. 保育実績

保育人数	0歳児 15名、1歳児 16名、2歳児 24名 3歳児 25名、4歳児 30名、5歳児 30名      合計 140名
土曜日保育	延べ 1,948名      平均 41名/週

##### 3. 年間行事

###### 【園行事】

4月 5日	はじまりのつどい	11月 10日	親子遠足
4月 7日	花見	11月 29日	キッズスクール
4月 13日	よもぎ摘み（5歳）	12月 5日	早寝早起朝ごはん
5月 26日	春の遠足	12月 22日	冬のお楽しみ会
6月 9日	交通安全教室	12月 28日	修業式
6月 10日	やなせまつり	1月 4日	新年の集い
7月 5日	七夕会	2月 3日	生活発表会
7月 13日	プール開き	2月 5日	TVインタビュー
7月 21日	夏のお楽しみ会	2月 9日	修了記念撮影
8月 3.4日	プール自由参観	3月 2日	交通安全教室
8月 4日	親子反戦映画会	3月 5日	お別れ遠足

8月 5日	お久し振り 1年生	3月 7日	一日入園
10月 7日	運動会	3月 13日	お別れ会
10月 12日	芋ほり	3月 26日	卒園式
10月 27日	秋の遠足	3月 28日	修了式

## (2) 適切な運営体制確立

### 1. 第三者評価の受審

保育の質の向上を目指し、第三者評価を受審しました。自己評価や保護者の期待・要求の調査結果から現状把握と改善課題を明確化し、保育内容の更なる充実に取り組みました。

受審日	11月1日
評価結果の公表	三重県ホームページに掲載
評価機関	株式会社 中部評価センター

### 2. 運営委員会の開催

保護者や地域に開かれた運営を推進するため、運営委員会を2回開催し、保育計画や保育内容についての協議を行いました。

開催日	内容
第1回 6月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度保育計画について 保育課程（年間計画・保健計画・食育計画）</li> <li>平成28年度の事業報告</li> <li>平成29年度の事業計画</li> </ul>
第2回 3月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度の状況報告</li> <li>平成30年度の事業計画</li> </ul>

### 3. 施設環境整備の推進

環境整備のため設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛散防止フィルム ・ 電子ピアノ ・ 網戸</li> <li>タオル掛け ・ エアコン ・ 掃除機</li> <li>絵本棚 ・ 給食献立ケース ・ パソコン</li> <li>乳児用ベッド ・ 乳児用スケール ・ 樽太鼓</li> <li>シューズボックス ・ 軒下フック</li> </ul>
老朽化のため改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳児沐浴台水漏れ修理</li> <li>保健室入口アコーディオンカーテン</li> <li>手洗い場アクリル板取替え</li> <li>網戸張替・保育室床改修・保管棚修繕</li> </ul>

### 4. 健康管理の実施

#### ①各種健診

内科健診	4月13日、11月2日
尿検査	4月19日

歯科健診	6月 1日
歯みがき指導	6月 29日
5歳児健診	6月 28日、11月 22日
身体計測	乳児（毎月）、幼児（隔月）
視力検査	11月 16日（5歳児）、2月 14日（4歳児）

②職員の健康診断

③給食・調乳に係る職員の検便（毎月2回）

④防虫対策（可動式除菌・害虫駆除器クッカノンスーパー設置）

## 5. 防火計画実施と交通安全指導の推進

年間計画を立て、毎月1回避難訓練を実施しました。また、保護者代表の幼児交通安全クラブ員3名がリーダーとなり、交通安全教室を開催しました。

①避難訓練

4月	話を聞く（火災・地震）	10月	火災想定
5月	火災想定	11月	長時間延長保育中
6月	消防署員による指導	12月	消防署員による指導
7月	不審者進入想定	1月	地震想定
8月	風水害	2月	近隣よりの火災想定
9月	地震想定	3月	総合訓練

②交通安全教室（指導）

6月9日	交通安全教室（名張警察より指導を受ける）
3月2日	交通安全教室（三重県交通安全協会より指導を受ける）

## 6. 保護者との連携の推進

年齢毎に年1回、おやつ試食会と同日にクラス懇談会を開催し、保育園での遊びや生活の様子を伝えました。子育て相談や、就学前相談・個人懇談を実施し保護者との連携を図りました。

## 7. 地域との交流の推進

①藤堂家邸の花見（4月7日）

②寿栄神社境内散歩（随時）

③高齢者さんとの交流（ふれあいデイサービス）月2回

④小学校運動会参加（年長児）

## 8. ふれあい活動

①小、中、高校生とのふれあい活動（夏休み、冬休み利用、延べ26名）

②職場体験（名張中、赤目中、南中より10名）

## 9. 職員の資質向上の推進

年間計画を立て、園内研修を進め園外研修にも積極的に参加しました。また、保育士の技能・経験に応じ専門リーダー（乳児・幼児・子育て・食育・図書・保健・アレルギー・栄養管理）となりキャリアアップに繋がりました。

### ①研修内容

園内研修	・人権保育 ・障害児保育 ・公開保育 ・乳児保育 ・幼児保育 ・救急救命
園外研修	・な同会（なばりの同和保育を考える会） ・障害児保育 ・乳児保育 ・幼児保育 ・食育 ・発達支援コーディネーター ・保健 ・絵本 ・保育実践 ・地域子育て ・公開保育

### ②実習生の受入

実習目的	人数	学校名
保育実習	10名	京都女子大学 他6校
小児看護	5名	名張市立看護専門学校
インターンシップ	5名	名張高等学校

## （3）特別保育事業

### 1. 低年齢保育事業の推進

生後6カ月より受け入れ、0歳児～2歳児まで定員数の55名の子どもを保育しました。年齢の発達に応じ、年間・月別に保育計画を持ち、一人ひとりの子どもの個別計画や個人記録をとり、保護者支援（育児相談やアドバイス、看護師による健康相談）を行いました。

### 2. 延長保育事業の推進

#### ①延長保育の利用実績（平日 18：15～19：15）

4月	156名	10月	149名
5月	137名	11月	145名
6月	194名	12月	151名
7月	151名	1月	143名
8月	137名	2月	141名
9月	160名	3月	151名

1カ月平均 151名 年間延べ利用人数 1,815名

#### ②スポット保育の利用実績

延長保育の登録園児以外にも朝、夕の突発的な標準時間保育・延長保育に対応しました。

#### ③障害児保育事業の推進

個別支援計画を立て、5歳児2名・3歳児2名、計4名の障害児保育を行いました。5歳児健診、定期巡回訪問、就学前教育相談を行い、途切れのない発達支援を行いました。

た。

#### ④一時預かり保育事業の推進

保護者の就労や疾病、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消など私的な理由やその他の事由により保育を必要とする児童を、延べ372名預かりました。

	利 用 児 童 数						合計
	半日			一日			
	① 勤務 形態等	② 緊急 一時的	③ 私的 理由等	① 勤務 形態等	② 緊急 形態等	③ 私的 理由等	
合計	91	6	49	119	28	79	372

### (4) マイ保育ステーションの取組み（地域の子育て支援事業の推進）

育児体験や育児相談、一時預かりサービス利用を通して、妊娠期から途切れのない地域の子育て支援の拠点として事業に取り組みました。

#### 1. マイ保育ステーションの実績

項目	人数	内容
新規登録	131名	未就園児、妊婦さんの登録者
利用人数	延べ758名	0歳児の利用が最も多く、86%が3歳未満児
一時預かり無料体験	26名	年1回、午前もしくは午後の半日無料で一時預かり保育をする

#### 2. 毎月の行事内容

行事	内容
わらべうた	第1木曜：わらべうた・ふれあい遊び
バルーンアート	第2木曜：風船で楽しいあそびをします
折り紙で遊ぼう	第3木曜：親子で折り紙遊び
ミッチーと遊ぼう	第4木曜：パネルシアター・絵本・わらべうた
絵本大好き	ステーションのスタッフによる絵本のお話会
ナースと一緒に	昭和保育園の看護師による身体計測と相談
その他	園庭開放・夏期時は水あそび・おやつ試食会

### (5) 「子ども子育て新制度」に沿った事業展開

年齢（0歳児～5歳児）毎に「養護」と「教育」のねらいを持ち、日々の保育実践を行いました。また、保育指針改定に伴い専門研修に参加し、保育士の質の向上に結びました。

## IV 【総合福祉センターふれあい拠点】（総務課）

### (1) 総合福祉センター指定管理事業

## 1. 施設の維持管理

### ①設備の保守点検・修繕等による安全管理と施設の長寿命化

#### ア. 空調設備改修と名張市への設備等更新、大規模修繕実施の要請

設備の老朽化に伴い、平成 29 年度において冷温水発生器及びガスヒートポンプの改修を行いました。引き続き当該設備の残改修についての要請を行いました。また、施設、設備の老朽化が著しいことから、「名張市総合福祉センターふれあい設備等要修繕箇所に係る報告」にまとめ、要請を行いました。

#### 施設の管理状況

主 な 管 理 項 目	費 用
警備業務委託	544,320 円
自家用電気工作物保安管理業務委託	436,752 円
昇降機保守点検業務委託	1,189,080 円
駐車場管制装置保守点検業務委託	534,600 円
構内交換電話設備保守業務委託	155,000 円
清掃業務委託	4,147,200 円
設備保守管理業務委託	7,699,320 円
管理運営にかかる休日及び時間外業務委託	2,085,779 円
電話交換機更新委託	2,484,000 円
冷却水系水処理剤投入	67,392 円
雨水管詰り泥上げ	62,640 円
雨水管閉塞除去作業委託	64,800 円
敷地内ヤナギ・ケヤキ剪定作業	313,200 円
敷地内高木枝切剪定作業委託	281,300 円
機械室補給水ユニット取替整備委託	430,920 円
トイレ用擬音装置取付委託	189,000 円
その他	385,140 円
管理に要した費用合計	21,070,443 円

#### イ. 施設の修繕状況

危険度や重要度を考慮し、市と協議しながら、優先順位をつけて、修繕を行いました。

主な修繕箇所	水銀灯ポール修繕、バコティンヒーター部材取替修繕、駐車場入口カーゲート修繕、玄関庇雨漏り修繕、風除室修繕、ふれあいホール移動観覧席修繕、ふれあいホール移動観覧席目隠し用カーテン取替修繕、2階中央階段入口避難口誘導灯取替修繕、西玄関門柱灯部品取替修繕、3階ホール天井ガラス窓及び男女脱衣室トップライト雨漏り修繕、屋上消火補給水槽修理 等
修繕に要した費用	1,813,104 円

### ②施設利用状況

#### ア. 会議室・ホール利用件数：2,177 件（前年比 30 件減）

#### イ. 利用料・参加費収入

内 訳	金 額
会議室・ホール	3,739,795 円
駐車場	253,450 円
コピー・印刷代	247,660 円
卓球台	114,200 円
合 計	4,355,105 円

#### ③環境美化活動の計画的実施による施設周辺の管理

##### ア. 総合福祉センター内各事業所職員による美化活動

年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道等の落葉掃き及び側溝等の浚渫を行いました。

## 2. 施設利用者の意見反映

利用者の意見は、センター内に設置した「ご意見箱」や窓口により把握し、施設サービスや職員資質の向上につなげるように努めました。

##### ア. 喫煙場所の移設

##### イ. 老人福祉センター浴室及び洗い場への手すりの設置

##### ウ. 1階、2階女子トイレへの擬音装置設置

## 3. 防災対策

#### ①防火管理委員会の開催

8月1日（火）、1月11日（木）

#### ②消防計画に基づく消防、防災訓練の実施

総合福祉センター内での火災及び大地震発生を想定し、各事業所職員を対象とした消防、防災訓練を実施しました。

実施日時	8月22日(火)13:30~15:00	1月29日(月)13:30~15:00
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・自衛消防組織の役割と各階の消防設備の確認</li><li>・消防用散水栓による消火訓練</li><li>・通報訓練（消防署・館内）</li><li>・避難誘導訓練</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・通報訓練（消防署・館内）</li><li>・地震発生及び火災発生に伴う避難誘導訓練</li><li>・地震に関するビデオと講話</li></ul>
参加者	社協、名張連絡所、名張市シルバー人材センター、ハローワークプラザ名張、家庭児童相談室、デイサービス利用者及び老人福祉センター利用者	

## V 老人福祉センター「ふれあい」拠点（介護支援課）

### （1）老人福祉センター指定管理事業

老人福祉センター「ふれあい」において、「生きがい活動支援通所事業」及び「介護予防通所事業」を実施し、市内在住の高齢者の交流や健康づくり、介護予防の推進に努めました。

#### 1. 老人福祉センター管理運営事業

①利用状況

開館日数	298 日		
年間延べ利用者数	16,173 名	浴室延べ利用者数	8,579 名
		カラオケ延べ利用者数	8,319 名
		土曜日の障害者利用者数	174 名

2. 生きがい活動支援通所事業

①事業実績

基本事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活相談：受付等にて、随時利用者の生活相談を実施</li> <li>映画会：月1回6日間（月～土）映画の上映</li> </ul>		
風呂の日の実施	利用者のおよそ5割以上が入浴を利用し、利用者からも薬湯等を喜ばれ、利用促進を図るサービス事業として実施しました。	毎月第3土曜	12月は1週間（月～土）
各種発表会の開催	利用者の発表と交流の場を提供し、楽しみを増やすことで生きがいにつながるよう支援するため各種発表会を開催しました。また、利用者によって組織された実行委員会の企画運営など、利用者の主体的な活動を支援しました。		
	ビリヤード大会	7月15日（土）	参加者 13名
		12月7日（土）	参加者 10名
		3月17日（土）	参加者 12名
	七夕カラオケ大会	7月8日（土）	参加者 71名
	芸能発表会	12月9日（土）	参加者 9組
	新春カラオケ大会	1月13日（土）	参加者 75名
作品発表会（1週間開催）	3月12日（月）～	参加者 20名	
歌謡ショー （味噌汁・おにぎりの振る舞い）	5月13日（土）	参加者 50名	
地域活動支援	名張地区民生委員児童委員協議会が実施する「高齢者のつどい」の支援	6月8日（木）	参加者 37名
	名張地区松寿会「カラオケ大会」開催支援	7月27日（木）	参加者 50名
自主サークル活動	サークル名	回数	延参加者数
	カラオケ教室	23回	746名
	いきいき書道クラブ（漢字・かな）	12回	190名
	レクリエーションサークル	12回	59名
	茶道教室	8回	17名
	ながつき友の会	9回	52名
	ビリヤード教室	51回	285名
	計	115回	1,349名
社協事業への協力	地域福祉課「ふれあいフェスティバル（11月25日）」に協力し、施設を会場の一部として開放し、利用者の参加を促し、施設見学者を受け入れて施設の周知を図りました。		

## ②ボランティア協力実績

内 容	回数	延べ協力者数
カラオケ指導	23 回	23 名
カラオケ入力	69 回	69 名
大会支援	2 回	4 名
スクエアステップ教室	38 回	122 名

## ③実習生の受け入れ

内 容	回数	延べ人数
介護支援課実践研修（ディサービス看護師 2 名）	4 回	4 名

## (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

### 1. 独自事業実績

メニュー	内容	備考
スクエアステップ教室	高齢者の介護予防、認知機能向上、体力づくりに効果がある「スクエアステップ」をリーダー（ボランティア）の協力を得て実施	実施日数 48 日 延べ 962 名
私の健康カルテ	自分自身の健康管理や介護予防への意識付けを目的に発行	発行部数 3 冊 通所 C 利用者
血圧記録用紙	自分自身の健康管理を目的に発行	発行部数 7 冊 血圧測定者
歯科衛生士による「歯科相談」	歯科衛生士によるお口のアンケートと歯科相談を実施、1 日はふれあいフェスティバルに協力実施	実施日数 2 日 延べ 50 名
健康づくり・介護予防啓発チラシ	高齢期の「健康づくり」「介護予防」「認知症予防」の意識づけを目的に提供	
脳トレチラシの配布	自由に取り組めるようパズルや数独などを提供	

### 2. 一般介護予防事業実績

メニュー	内容	備考
健康相談	受付にて、希望者に血圧測定・健康相談に応じました	延べ 874 名
一般マシン・トレーニング教室	年間を 6 クールに分け、1 クール 7 回のコースで、運動器機能の向上のため、マシン・トレーニング教室を実施（月～金曜日に実施）	実施日数 210 日 延べ 3, 733 名
ヘルスアップ教室	心身ともに健康でいきいきと、生涯健康生活を目指していただくことを目的に実施 ①お花見弁当	延べ 29 名

### 3. 介護予防・生活支援サービス事業

	実施時期	実施日数	実参加者数	延べ参加者数
通所運動支援サービス (通所型サービスC)事業	10月～2月	32日	3名	37名